

『日本の野鳥カレンダー2019』

撮影者コメント

作者の撮影コメントやエピソードを掲載しています。カレンダーの写真と一緒に楽しみください。

表紙



ホオジロ

学名: *Emberiza cioides*

英名: Meadow Bunting

朝の光、多彩な色合いの河川敷の新緑。いつものソングポストに、ホオジロがさえずっていました。バックの水平、ピント、露出、色合いに注意しながら、ホオジロポーズを撮りました。

■ 撮影 敷地 富士雄

■ 撮影場所 埼玉県 上里町

1月



トラツグミ

学名: *Zoothera dauma*

英名: Scaly Thrush

厳冬の季節がやってくると、木の実を求めて山間から低地にやって来る。個体数が少なくなった為か、一般には余り見ることが無い種となってしまった、この鳥が現れる頃は寒さが一段と厳しく特に早朝の撮影は大変。

■ 撮影 石橋 孝継

■ 撮影場所 北海道 札幌市

2月



イカル

学名: *Eophona personata*

英名: Japanese Grosbeak

朝から暴風雪と時折地吹雪のこんな日に、北海道では夏鳥のイメージが強いイカルに出会いました。楓の木の高い枝に止まっていて雪など全く気にしない様子です。徐々に低い位置に降りて来て楓の種を啄み始めるのを待ち、撮影することが出来ました。

■ 撮影 内藤 滋

■ 撮影場所 北海道 札幌

3月



スズメ

学名: *Passer montanus*

英名: Eurasian Tree Sparrow

春のおとずれを待ちわびて、近所の草むらに出向いてみた。食べ物が少なくなるこのころ、この草地には、多くのスズメたちが集まってくる。枯れ草の実を啄ばみ、何かの物音に一斉に飛び立ち、暫くすると戻ってくる……。

そんなことの繰り返しを飽きることなく続けている。いつまでも眺めていてふと気が付くと、夕闇に包まれていた。

■ 撮影 福島 千枝子

■ 撮影場所 愛知県 豊明市

4月



アオバト

学名: *Treron sieboldii*

英名: Japanese Green Pigeon

新緑の林道を走っていると、脇の木から数羽の鳥が飛び立った。シルエットと飛び方でアオバトと確信。接近は難しいので夜明け前から車を止めて待つ事にする。辺りがぼんやりとしてきた頃にやって来た。

■ 撮影 深瀬 伸介

■ 撮影場所 京都府 京都市

5月



サンコウチョウ

学名: *Terpsiphone atrocaudata*

英名: Japanese Paradise Flycatcher

北海道では2例目ともいわれる珍鳥、渡り鳥たちの休息地でもある、公園に飛来し、暫くバーダーたちを楽しませてくれた。一般に生息環境は薄暗いところらしいが、現れた場所は割合明るいところなので、華麗な姿を撮ることが出来た。

■ 撮影 石橋 孝継

■ 撮影場所 北海道 苫小牧市

6月



ケリ

学名: *Vanellus cinereus*

英名: Grey-headed Lapwing

田植えが始まるころ、農道を走っていると、畦道で子育てをしているカップルがけたたましい声を張り上げ私を警戒してくる。居る場所に気づかず、近づきすぎると怪我をしたふりなどして、かいがいしく雛を守っている。この日は子育てを終えたのか、乱れた羽毛を丁寧に整え可憐な花の中にたたずむ姿に、穏やかな時が流れていた。

■ 撮影 福島 千枝子

■ 撮影場所 愛知県 西尾市

7月



コノハズク

学名: *Otus sunia*

英名: Oriental Scops Owl

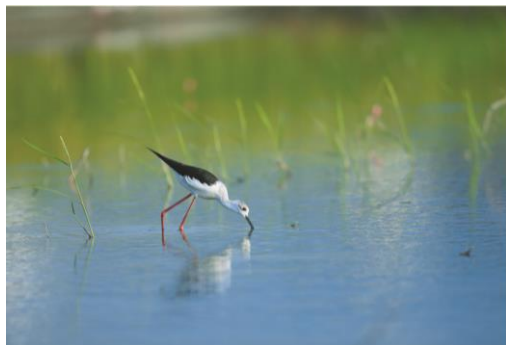
わずか 20cmほどの大きさしかない小型のフクロウであるコノハズク、深い山の中で辺りが段々と薄暗くなると、「コッ、コッ、コッ」というこの鳥の声が森に響き渡ります。しかし、声はすれども姿を見ることは難しく、鳥の撮影を始めてからも長い間、姿を見たことがない鳥の1種でした。

この時は運にも恵まれ、目の前の枝にふっと止まってくれたので、息を殺して静かにシャッターを切りました。

■ 撮影 野口 好博

■ 撮影場所 鳥取県 八頭郡

8月



セイタカシギ

学名: *Himantopus himantopus*

英名: Black-winged Stilt

まだまだ残暑の続く8月の末。水を張った休耕田に、渡りの途中のセイタカシギが一羽いた。背景の青と緑に、鳥の白、黒、赤が映えて美しかった。

ちょうど鳥枯れで、ほとんどシャッターを押していない時期だった。移動して大汗をかきながら、思う存分シャッターを押した。夏らしい写真が撮れたと思う。

■ 撮影 松廣 浩二

■ 撮影場所 愛媛県 伊予郡

9月



アホウドリ

学名: *Phoebastria albatrus*

英名: Short-tailed Albatross

航路で出会うと、たいてい横に見るか見上げますが、この時は、船の甲板の下を通過して上面を見せてくれました、かなりの成鳥羽で首回りは金色なので、感激でした。

■ 撮影 坂東 俊輝

■ 撮影場所 東京都 三宅島沖

10月



メジロ

学名: *Zosterops japonicus*

英名: Japanese White-eye

見事に色付いたツリバナの葉も散り急ぎ、わずかに残った葉とメジロを撮っているともう1羽が寄ってきて何やら会議を始めた。そう、左のメジロが寄ってきたのです。

■ 撮影 吉田 幸弘

■ 撮影場所 北海道 札幌市

11月



オオタカ

学名: *Accipiter gentilis*

英名: Northern Goshawk

■ 撮影 小林 健三

■ 撮影場所 岡山県 岡山市

狩りを終えたオオタカは、お気に入りの横枝に止まって羽繕いを始めました。晩秋のナンキンハゼは白く結実して、花の様な風情が感じられました。

12月



オシドリ

学名: *Aix galericulata*

英名: Mandarin Duck

■ 撮影 土橋 信夫

■ 撮影場所 鳥取県 日野町

オシドリで有名な鳥取県の日野川に集まるオシドリの群れを観に行った。前夜からの雪もやみ、朝には綺麗な雪景色に成り、河原にはオシドリの群れがひしめき合っていた。

観察舎前の雪をかぶった枝にオシドリが来てくれたが、雌ばかりでなかなか雄が来てくれない。暫く待つとやっと雄が一羽来てくれたが、メスに追われ数分で川に下りてしまい後は、また雌だけに成ってしまった。

公益財団法人 日本鳥類保護連盟

Japanese Society for Preservation of Birds

〒166-0012

東京都杉並区和田 3-54-5 第10田中ビル3階

TEL:03-5378-5691 FAX:03-5378-5693

<http://www.jspb.org/>

